

国土地理院サイトの基盤地図情報ダウンロードサービスからダウンロードした 5m メッシュ (標高) XML データは、現在 UC-win/Road では直接サポートされておりません。そのため UC-win/Road へ取り込む前に、データを UC-win/Road がサポートしている形式へ変換する必要があります。

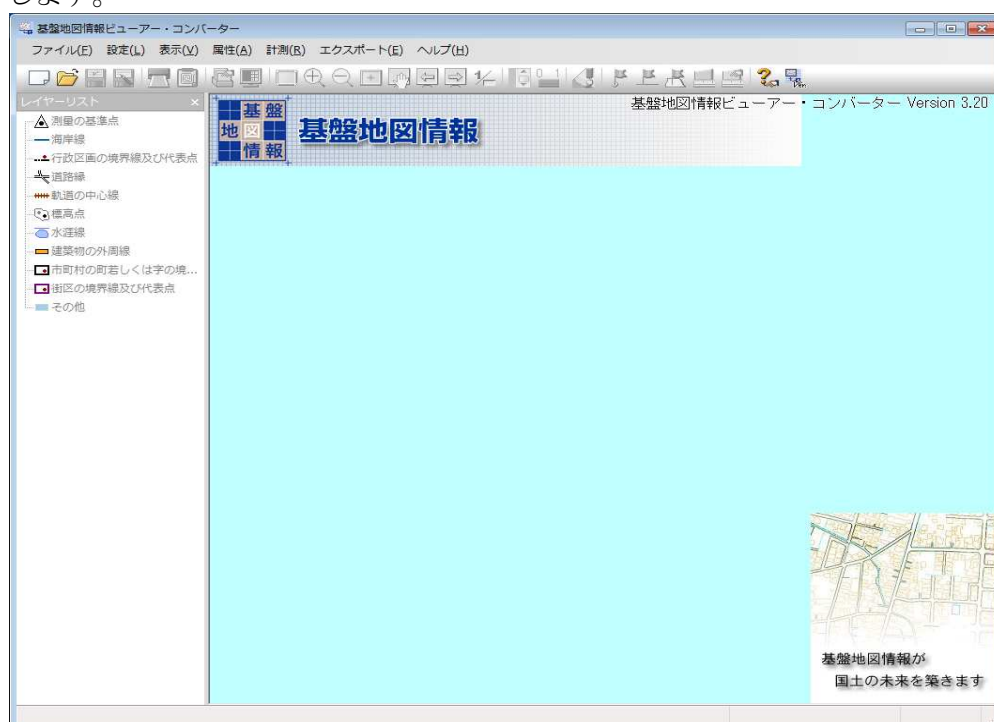
ここでは、Shapefile 形式へ変換後 UC-win/Road へ取り込む方法を説明します。

手順は大まかに以下の通りです。

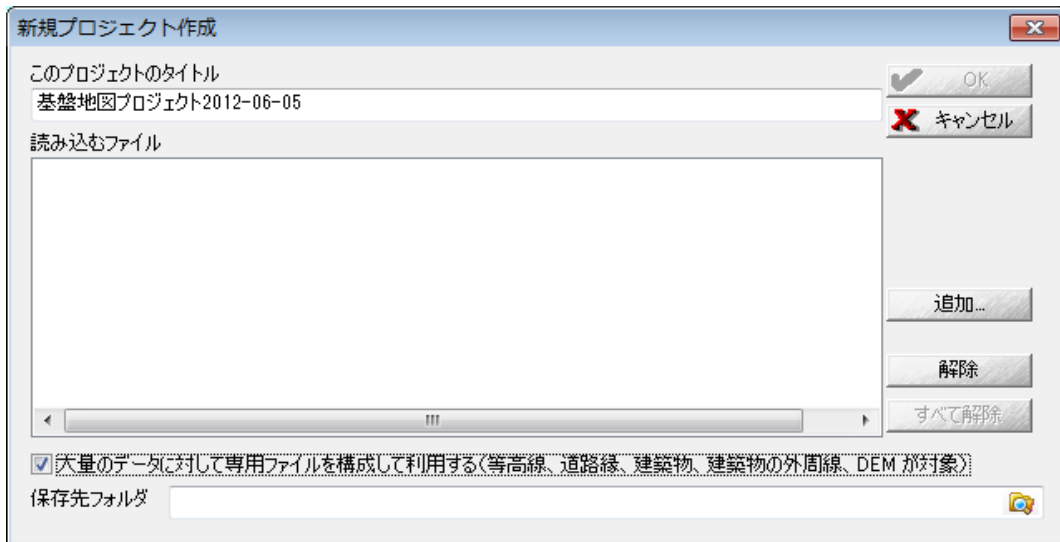
1. 基盤地図情報閲覧コンバートソフトによる 5m メッシュ標高 XML データの Shape ファイル変換
2. UC-win/Road で変換した Shape ファイルをインポートする。

基盤地図情報閲覧コンバートソフト による5mメッシュ標高 XML データの Shape ファイル変換

国土地理院のサイトから「基盤地図情報閲覧コンバートソフト」をダウンロードし、プログラムを実行します。



メニュー[ファイル]ー[新規プロジェクトの作成]を選択するとプロジェクトの設定画面が表示されます。任意のプロジェクト名を入力します。



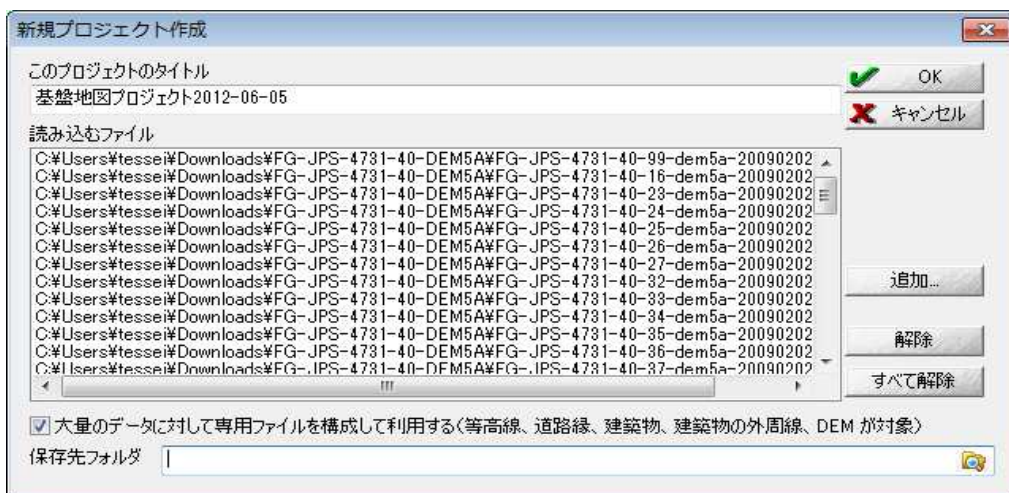
[追加]ボタンをクリックします。



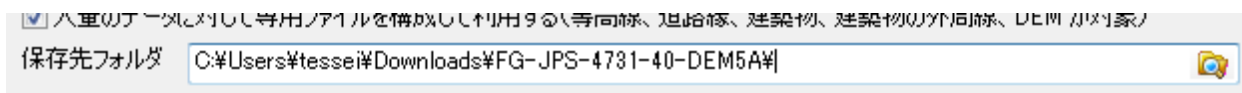
先にダウンロードした 5m メッシュ標高データから任意の XML ファイルを選択します。

[ヒント]

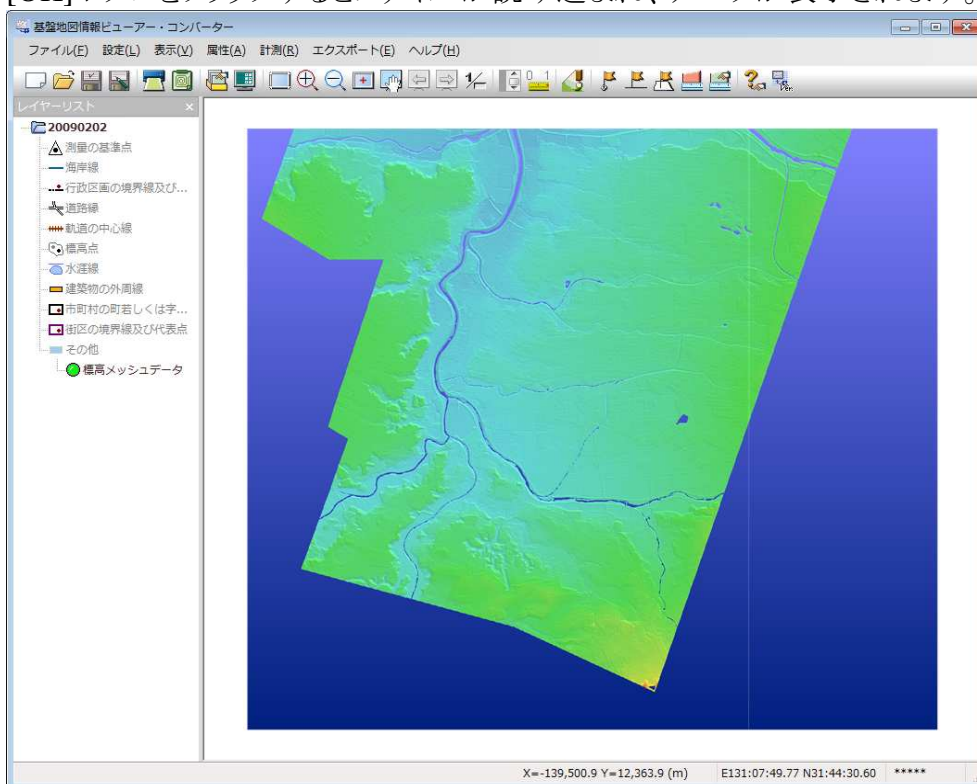
Shift キーを押しながらの一括選択や Ctrl キーを押しながらの個別選択が可能です。



[保存先フォルダ]を設定します。



[OK]ボタンをクリックするとファイルが読み込まれ、データが表示されます。



メニュー[エクスポート]-[標高メッシュをシェープファイルへ出力]を選択します。表示されたダイアログの設定を行い[OK]ボタンをクリックします。標高メッシュデータが「出力先ファイル」で設定したshpとして出力されます。



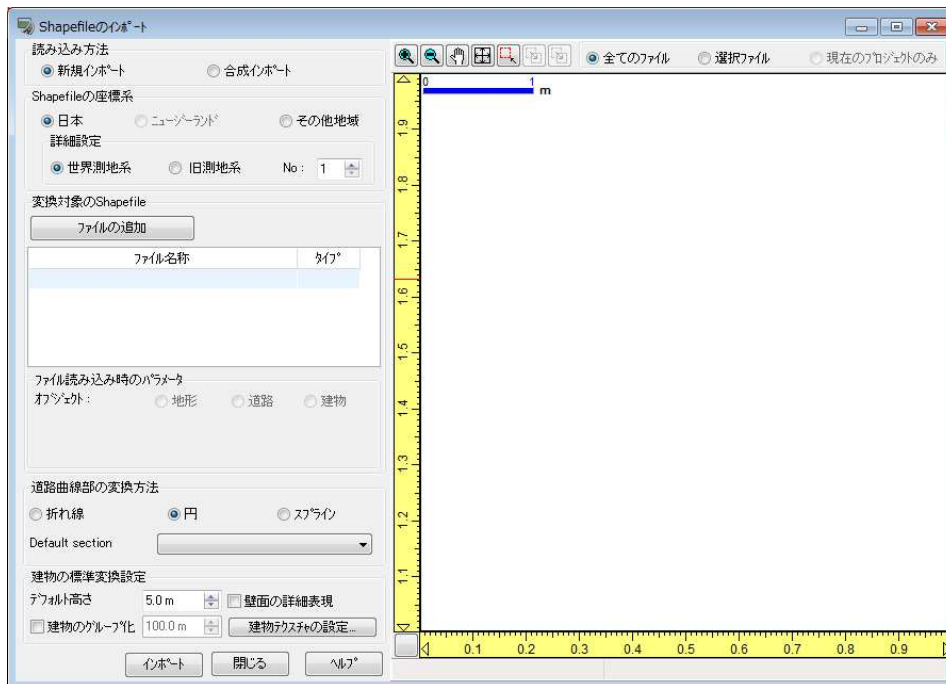
[ヒント]各パラメータについては、コンバータツールのヘルプをご覧ください。

出力したシェープファイルを UC-win/Road へ取り込む

UC-win/Road を起動し、[ツール]-[Shapefile のインポート]を選択すると以下の Shapefile インポート画面が表示されます。2 通りの方法があります。

[1]新規プロジェクトとして取り込む

新規プロジェクトを Shapefile を使用した地形で作成するには以下の手順で行います。

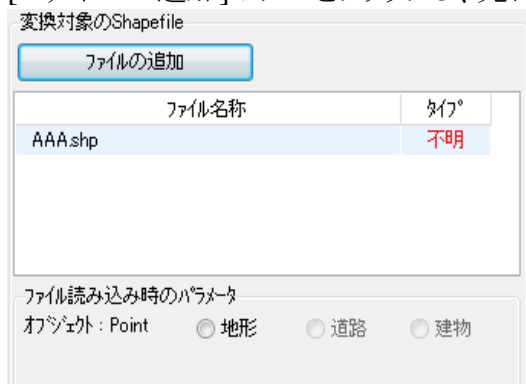


読み込み方法を「新規インポート」に指定します。

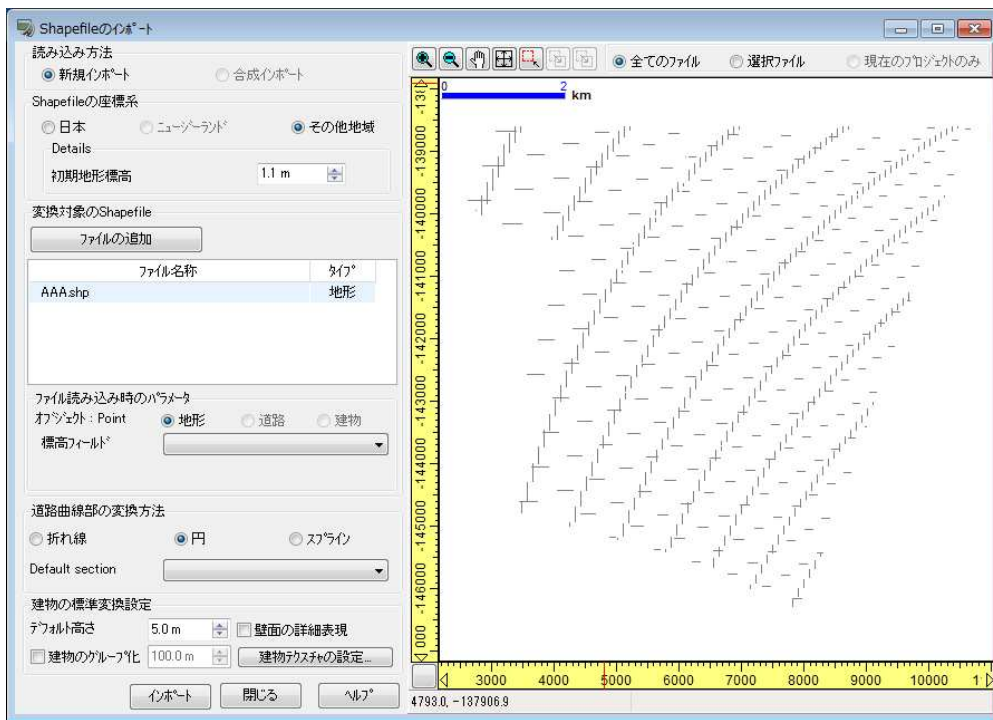
読み込む Shapefile の座標系を「その他の地域」にします。

初期値系標高：任意(5mメッシュ標高データ以外の領域の標高値を設定します。)

[ファイルの追加]ボタンをクリックし、先に出した Shapefile を選択します。



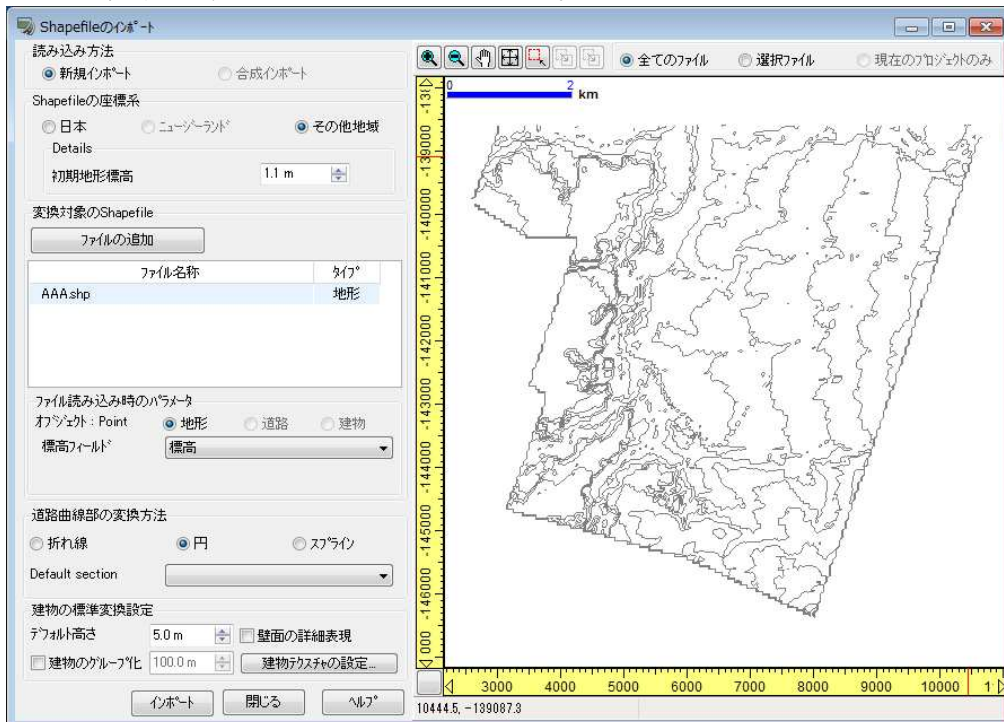
タイプが赤色で「不明」と表示されます。オブジェクト で「地形」をチェックします。



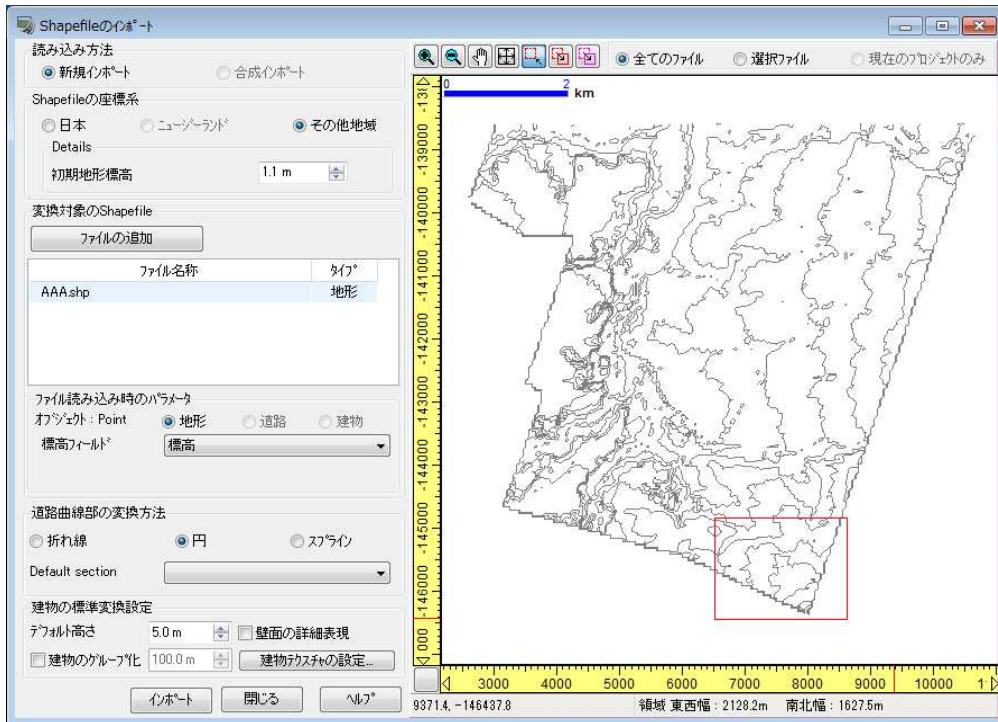
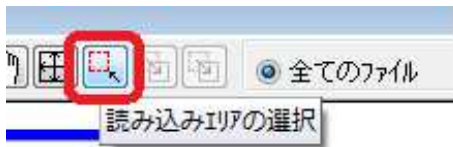
標高フィールドで「標高」を選択します。



右側の領域に標高データが表示されます。



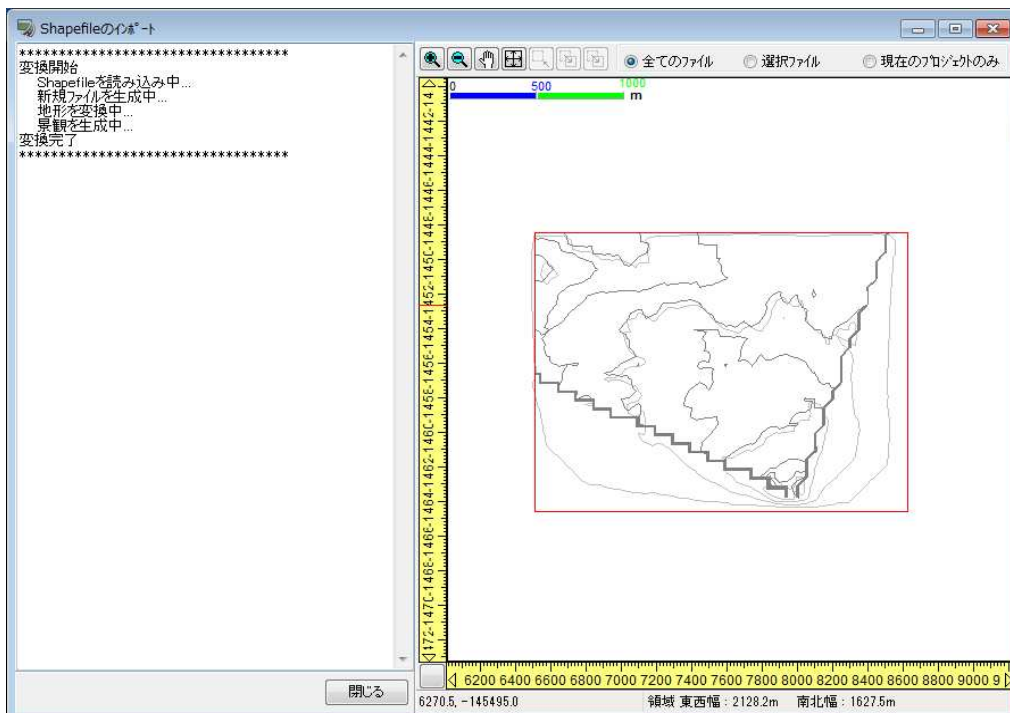
「読み込みエリアの選択」ボタンを押して、UC-win/Road に取り込む領域を選択します。



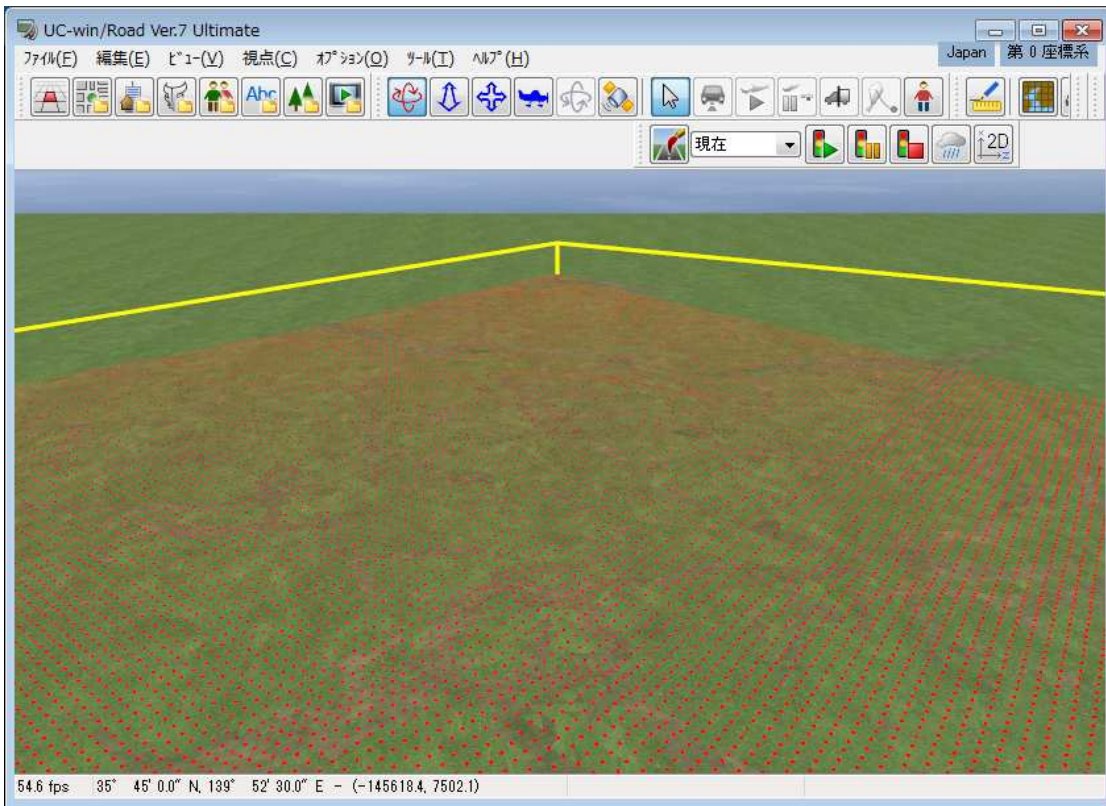
[注意]

選択領域が余りに広いと、読み込めなくなる恐れがあります。選択領域が広がるに従ってデータ量が増え、読み込みに時間が掛かります。

[インポート]ボタンをクリックし、データを UC-win/Road に取り込みます。



「変換完了」表示後、[閉じる]ボタンでインポートを完了します。データは「地形パッチ」データとして読み込まれます。



[ヒント]

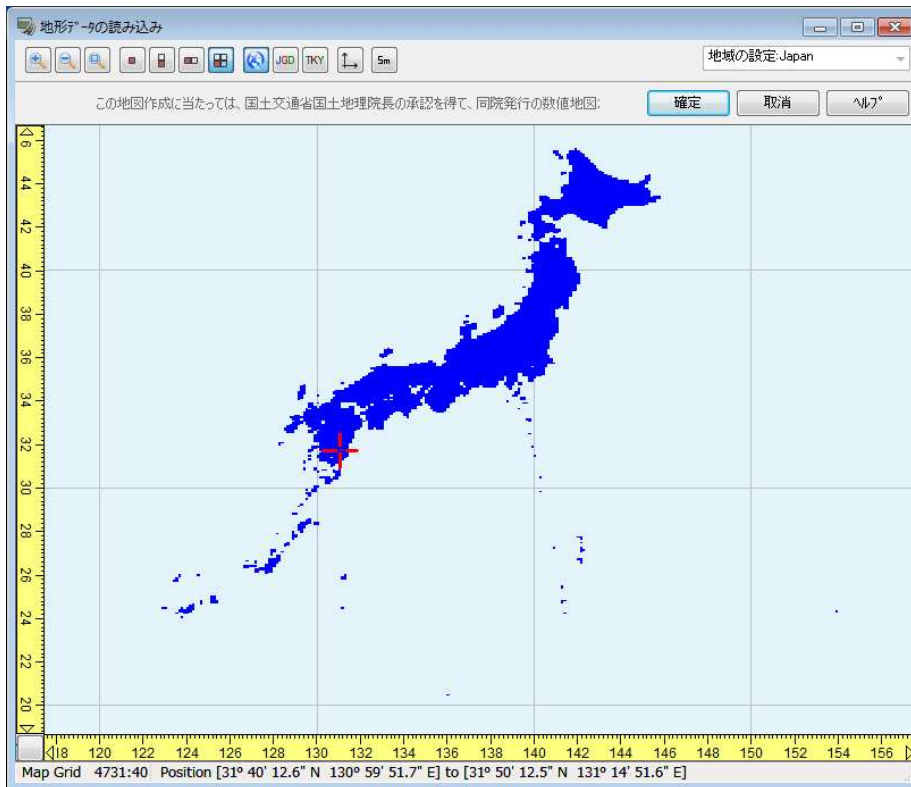
UC-win/Road に戻ると上空から見た状態になります。

パッチ非選択状態では赤丸の標高点は表示されません(上図は選択した状態)。

[2]現在の地形上に取り込む

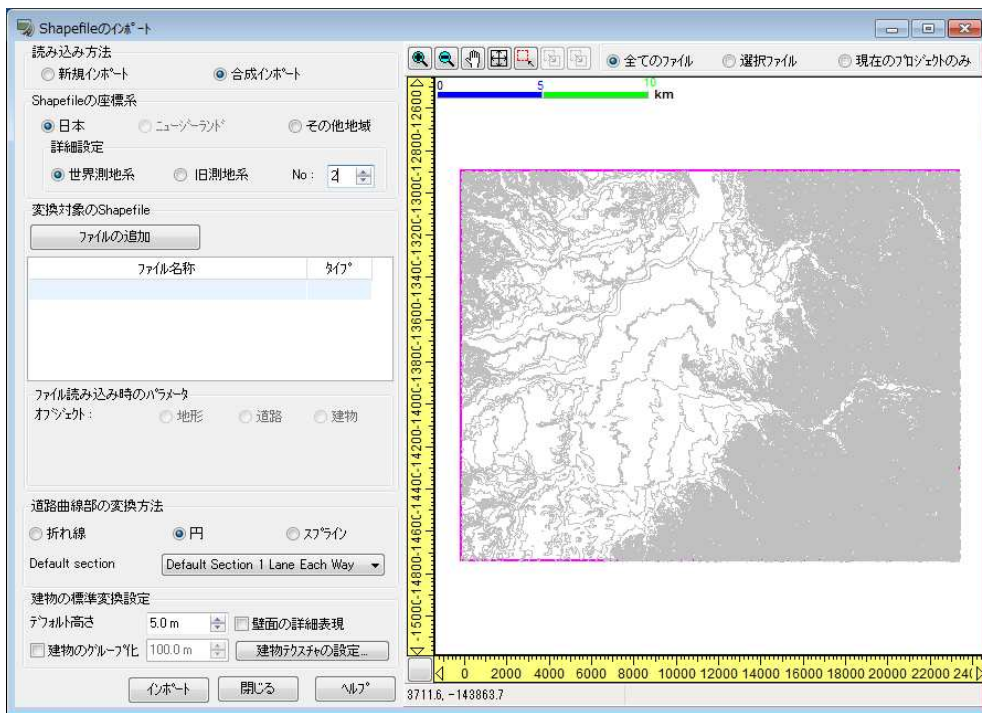
現在のプロジェクトの座標範囲に取り込む場合、特に日本の測地系に沿った座標値の Shapefile を取り込む場合、以下の方法で取り込みます。

UC-win/Road のメインメニュー[ファイル]-[新規プロジェクト]-[日本]から、50m メッシュ標高データによる地形を作成します



メインメニュー[ツール]-[Shapefile のインポート]を選択し、Shapefile インポート画面を表示します。

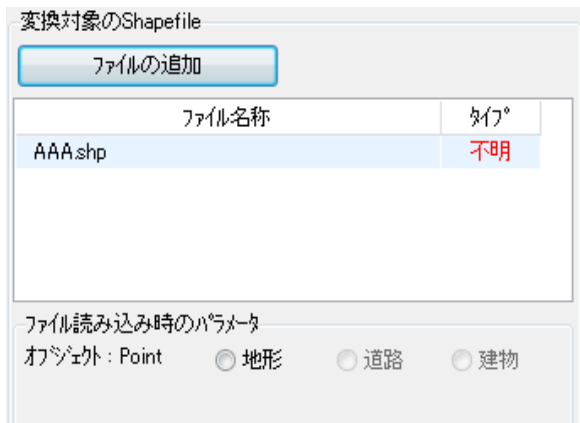
読み込み方法を「合成インポート」に指定します。現在の地形が右側に表示されます。



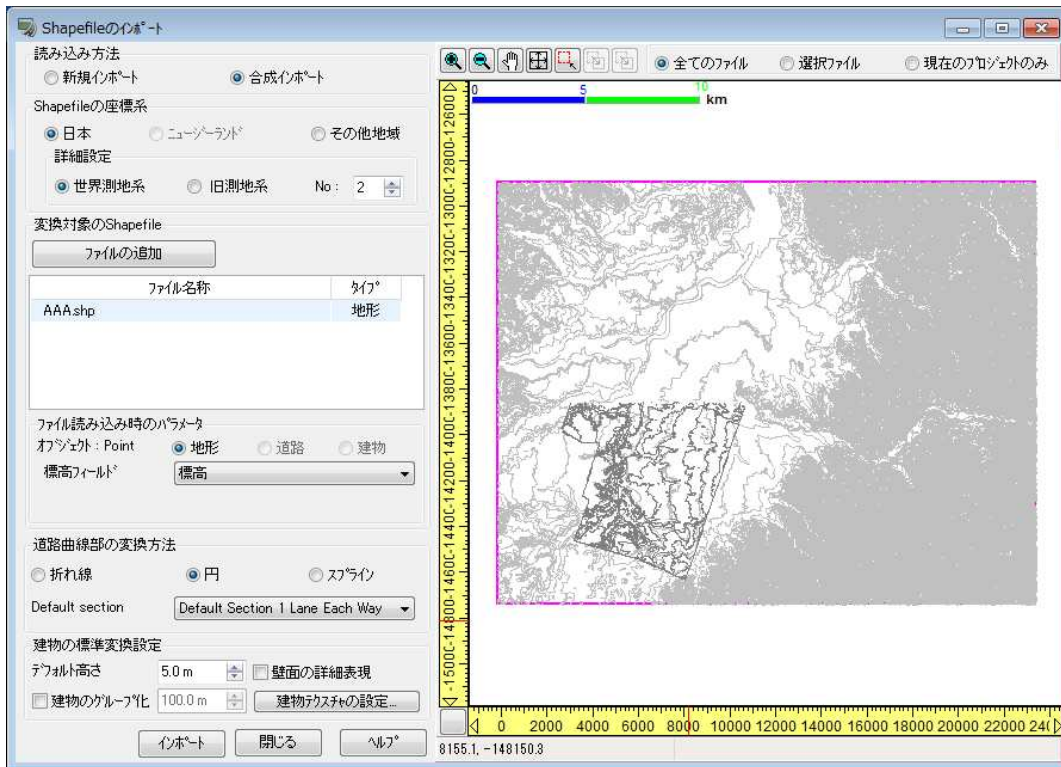
読み込む Shapefile の座標系を「日本」、座標系の番号を選択します。

注意：座標系の番号をプロジェクト上の座標系に合わせてください。

[ファイルの追加]ボタンをクリックし、先に出した Shapefile を選択します。

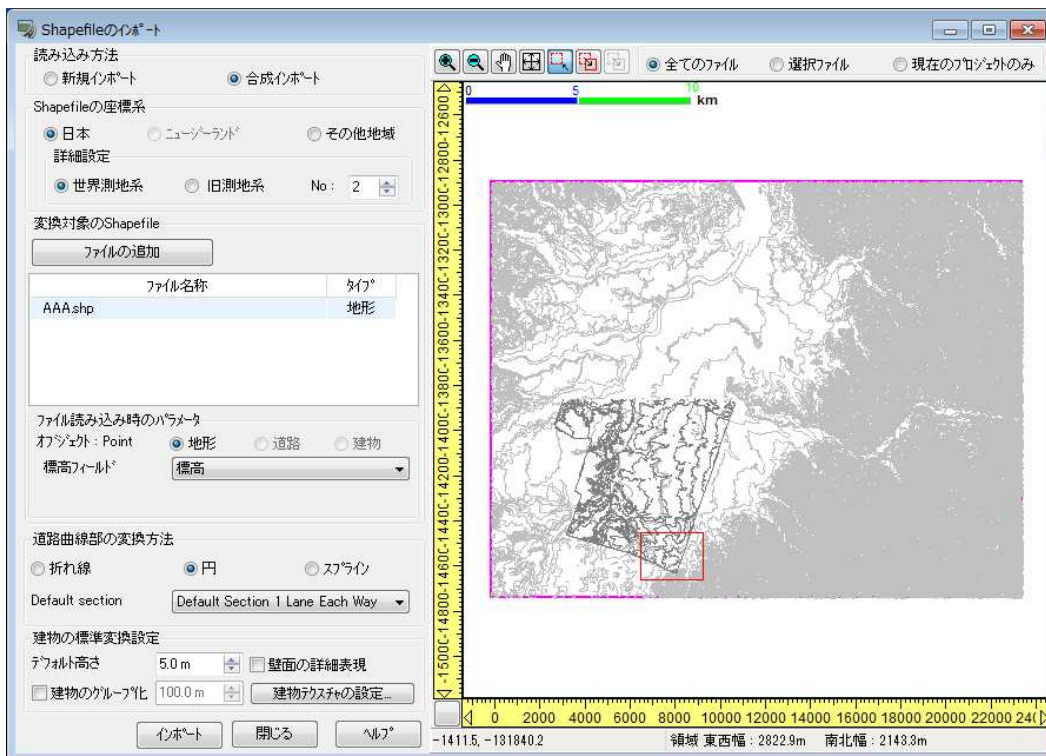


オブジェクト に地形を選択し、標高フィールドに「標高」を選択すると、当該データが表示されます。



注意: プロジェクト枠外のデータを取り込むことはできません。

「読み込みエリアの選択」ボタンを押して、UC-win/Road に取り込む領域を選択します。

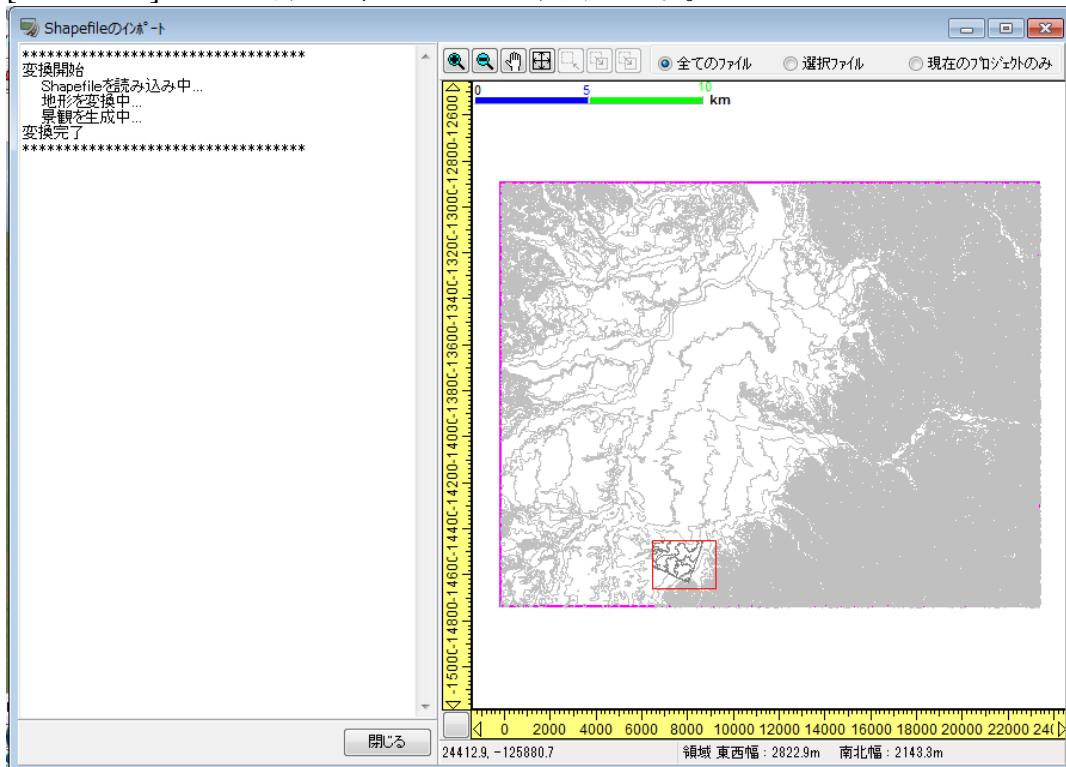


[注意]

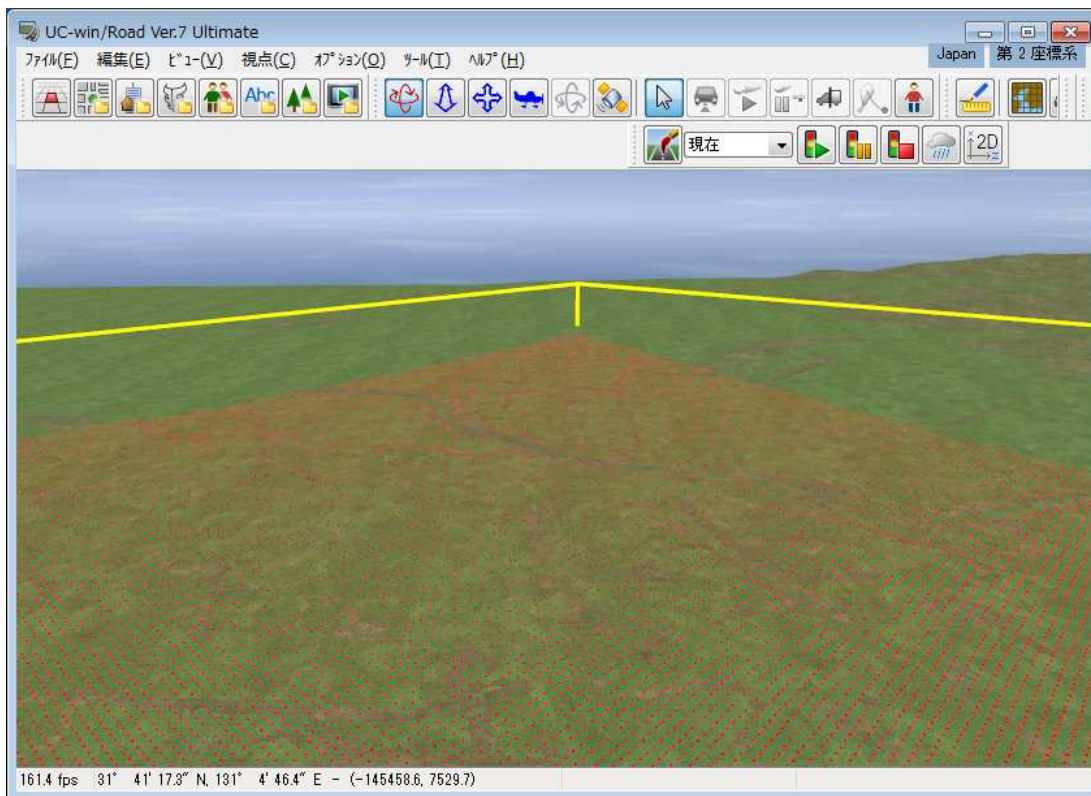
選択領域が余りに広いと、読み込めなくなる恐れがあります。選択領域が広がるに従ってデータ

量が増え、読み込みに時間が掛かります。

[インポート]ボタンを押して、インポートを開始します。



「変換完了」表示後、[閉じる]ボタンでインポートを完了します。データは「地形パッチ」データとして読み込まれます。



[ヒント]

UC-win/Road に戻ると上空から見た状態になります。
パッチ非選択状態では赤丸の標高点は表示されません(上図は選択した状態)。